



今月号のトピックス

▶多文化共生サロンレポート ▶Chika インドネシア体験記No.32 ▶協会の活動を振り返って



講師
花巻市地域おこし協力隊
赤津 有美 氏



2月4日(日)花巻市交流会館で「和紙の工作と豆まき会」を開催しました。花巻市に住んでいるまたは勤務している親と子、外国出身の方が集まりました。成島和紙は東和町北成島地区で350年以上の歴史があり「北限の和紙」として知られています。講師から説明を受けて成島和紙を使ったランプシェード作りが始まりました。

和紙の原料の楮。楮は皮だけを使うため、皮をはいた木を利用しランプシェードの骨組みにします。



①長いものと短いものを合わせて6本を選ぶ。



②グルーガンを使用し骨組みを作る。



③好みの和紙を選ぶ。同じ色でも微妙にトーンが違う。



④思い思いの形に水を使って和紙をちぎり、糊で貼り付ける。



完成☆
同じ物は1つとしてないオリジナルのランプシェードのできあがり。
灯りをともしればたちまち幻想の世界。

豆まきの準備が整うまで、お互いの町や国の文化についてサークルトークをしました。ネパールにも節分に似た行事があり、病気になるように豆をまくそうです。日本にも地域によってさまざま風習がありますね。



いよいよ豆まきの始まりです。その前に「鬼は外！福は内！」と発声練習をし鬼の登場を待ちました。するとどこからか鬼の声が!! 3匹の鬼が現れて、持っていた豆を掛け声と一緒に投げ付けました。おかげで鬼は退散していきました。鬼を怖がっていた子がいましたが、終わってみると「鬼が優しくあまり豆を投げられなかった」との感想が。今回は意外に優しい鬼だったようです。

赤津さんの説明はわかりやすく、楽しくランブシェード作りができました。「またイベントに参加したい」との声が多かったです。花巻市に住んでいても成島和紙のことを知らない方も多いと思うので、今回のイベントを機会に花巻の伝統文化を知ってもらえたらうれしいです。

青少年海外派遣生2名がボランティアとして参加してくれました。協会の仕事にふれ、いろいろな方と話す機会になったと思います。「大変だったけれど、楽しかった。またボランティアをしたい」と言ってもらえて、約1年間接してきた私たちは派遣生の成長ぶりを嬉しく思いました。

Chika のインドネシア体験記



Chika プロフィール

現在 (公財) 花巻国際交流協会スタッフとして勤務
2010年~2012年までの 2年間インドネシア共和国ゴロンタロ州ポアレモ県に栄養士隊員として派遣される。
首都ジャカルタよりポアレモ県まで直線距離で約2,300 km。ジャカルタから飛行機で (約3時間) → ミニバスに乗り換え (約3時間) → ポアレモ県に到着

ロンボク編

バリ島の東に位置するロンボク島。バリ島から飛行機で 1時間くらい。バリ島より観光客が少なく、のんびり観光したい人にお勧めです。

ロンボク島には当時保健隊員 (助産師、保健師、看護師、栄養士) が多く活動していました。仲良くなった R先輩隊員がロンボク島に住んでおり「いいところだからおいで」の一言でロンボク島に足しげく通いました (仕事を含めて4回以上)

先輩は、日本人オーナーの経営するゴルフ場内にあるヴィラに住んでいました。ヴィラは何棟も立っていてゴルフ場の日本人のお客さんがお金を出して建てたものだそうです。ヴィラのオーナーの高齢化や暴動で燃やされるなど朽ちた棟もありました。滞在中私はヴィラの一部屋を借りていました。



ロンボク伝統の手織りイカット。民家にお邪魔し体験中。

彼女（日本人オーナー）が本棟に住んでいて、R先輩のキッチンが壊れているので夕飯はオーナーの棟で料理しました。彼女の部屋ではNHKが見られたので、夕飯後はNHKを見てすごしました（何度滞在しても、多忙な彼女に会ったのはほんの数回）

彼女の家にはお手伝いさんがいました。お手伝いさんはササク人（ロンボク島人）で、ササク語とインドネシア語（共通語）を話します。ある日お手伝いさんは私をパサール（市場）に連れていってくれました。ササク語で他のお客さんたちと盛り上がっています。後からR先輩に「Chikaちゃん、みんなにうちのお嫁さんだと紹介されてみたいやで」と笑われました。お手伝いさんは私のことを説明するのがめんどくさかったようです。みんなが笑顔で話しかけてきたのはそのせい、、、（笑）



ササク人の伝統的衣装。後ろは売り物のイカット生地。



これは私の戦利品。ロンボクで買った方が安く買える。アタの新品は薄黄緑色で使えば使うほどあめ色になっていく。

ロンボク島でのお目当ては、織物のイカットとアタ製品。イカットを手織りしている村があるので、何箇所も村巡りしました。イカットはカスリのような風合いの生地が多く私の好み。生地の端がガタガタ(?)しているのが手織り、綺麗なのが機械織りでまっすぐ。手織りの方が高いのですが、R先輩曰く「せっかくやしな」の一言で手織りを多く買いました。

アタを作っている職人さんが多い村（観光客はいない。ガイドブックにも載っていない）までタクシーを使って行きます。職人さんから集めたアタを置いてある民家に行き、直接買い付けました。いろいろなサイズ・形のアタがたくさん積まれていました。ランドリーボックスがあり、すごく欲しかったのですが持って帰れないので諦めました。オーダーメイドもできると聞いてイメージを絵にかいたら、出来上がって来たのは上の左のバスケット。当時の値段で2,500円ほどでした。

ギリ・トラワンガン編

ロンボク島北西部にあるトラワンガン・メノ・アイルの3つの島からなるギリ島。その中でも一番大きい島がトラワンガン。1周6kmほど、バックパッカーに人気がありインドネシア語より英語が耳に入ってきます。別名「パーティーアイランド」。夜遅くまで爆音のクラブ音楽が鳴り響きます。当時英語がからっきしダメな私はR先輩だけが頼り。このトラワンガンに行くには最大の難関があり、ロンボク島から出ているボートで必ずぼたられるのです。正規の値段より3倍は取られ、この交渉に打ち勝った先輩は誰一人いません。しかし私たちには強い味方がいました。ボートのチケットを売っている現地のひとと付き合っているM先輩。その人のおかげで正規値段で乗り込めました。この島では真水は貴重。シャワーは海水なので、乾くと塩が体からポロポロと…。観光よりも日常からかけ離れてのんびりしたいという人にお勧めなリゾート。



荷物のついでに人を載せるボート。片道250円くらい。

こくさいこうりゅうきょうかい かつどう ふ かえ 国際交流協会の活動を振り返って

国際交流協会の活動に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルスが沈静化し、実施が見送られて来た活動が再開することが出来た1年となりました。

今回、特に印象に残ったことを月毎に振り返ってみました。

- 【4月】青少年海外派遣研修事業の参加者募集を開始（ドタバタしながら準備しました）
 - 【5月】青少年海外派遣研修事業参加者応募締め切り（市内全校からの応募に至らず残念でした）
 - 【6月】ホットスプリングス市とラットランド市から中高生の迎え入れ（ホストファミリーを始めみなさんに感謝）
 - 【7月】多文化共生をテーマとした富士大学主催のワークショップに参加（3回目となった今回も学生のみなさんから大いに刺激を受けました）
 - 【8月】公私混同して「大迫あんどんまつり」に市内在住外国人の方を招待（タイ出身のみなさんに喜んでいただきました）
 - 【9月】花巻まつりの神輿にホットスプリングス市からの市民訪問団とともに参加（担ぐより提灯持ちが楽でした）
 - 【10月】青少年海外派遣研修事業参加者の合同出発式を開催（参加者紹介をミスって大いに反省しました）
 - 【11月】奥州市国際交流協会の多文化共生推進の研修会に参加（参加者意識とスキルの高さに鱗状態でした）
 - 【12月】なはんプラザを会場に国際フェアを開催（反省材料も多かったですが、青少年海外派遣研修生の堂々とした成果発表に感激しました）
 - 【1月】富士大学留学生を対象に市内事業所見学を実施（花巻温泉の見学に参加した留学生4人の意識の高さにびっくりしました）
 - 【2月】日本文化体験講座で節分の鬼をみんなで熱演（自分の得意分野はやっぱりスーツアクターであることを確信しました）
 - 【3月】2024年度協会事業計画を策定（よりよい活動が出来るよう知恵を絞ります）
- 振り返って見ますと、市民のみなさん、賛助会員のみなさんとの輪が少しずつ広がったような気がします。

国際交流協会について、多くの人に知っていただくことが大事だと実感したこの一年。次年度もご支援をお願いいたします(_)。



問い合わせ先

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割183番地1
TEL: 0198-26-5833 FAX: 0198-26-5855
E-MAIL: kokusai_staff_d@ext.city.hanamaki.iwate.jp
ホームページ: <http://hanakokusai.wordpress.com>
開館時間: 8:30~17:15 (土日祝祭日、年末年始は休業)



2024.4.1~
受付開始

令和6年度 賛助会員募集について

公益財団法人花巻国際交流協会では、国際交流・国際理解・姉妹都市等交流・多文化共生事業など当協会の活動にご支援頂ける賛助会員を募集しています。

会員特典

①協会情報誌

『STAR WING』を毎月メールか郵送でお届けします。

②優先的に多文化共生サロンや語学講座の参加申し込みを受け付けます。

③当協会が主催する各種講座等参加料が割引されます。

例) 中国語講座

一般300円 賛助会員 無料

年会費

- 個人 1口 2,000円
- 団体 1口 10,000円
- 加入期間 令和6年4月1日~

令和7年3月31日

申込方法・会費納入について

振込

新規に賛助会員希望の方は会員規程

(HP掲載: <https://hanakokusai.wordpress.com/sanjo/>) に同意の上、

所定の振込用紙に必要事項記載の上、会費を納入頂きます。

『振込依頼書』で岩手銀行より振込み頂くと、手数料はかかりません。

- 銀行名: 岩手銀行 (0123) ●支店名: 花巻支店 (010) ●口座: 普通 0440448
- 名義: 公益財団法人花巻国際交流協会 理事長 佐々木 史昭
- 取扱指定金融機関: (株) 岩手銀行本店、各支店
(指定以外の金融機関をご利用の場合は、手数料がかかります)

窓口

窓口での会費納入も可能です。(平日: 午前8時30分から午後5時15分まで)

その他

・『振込依頼書』が必要な方は郵送いたしますのでご連絡ください。

・**STAR WING4月号と一緒に『振込依頼書』を送付します。**

令和5年度賛助会員

※令和5年度は個人41名、団体7団体の皆様に
ご加入頂きました。ありがとうございます。

令和5年度 団体賛助会員 (順不同)

株式会社 中央コーポレーション 様

富士大学 様

株式会社 三田商会 様

大迫町・ベルンドルフ市友好会 様

株式会社 Three blue tree 様

花巻農業協同組合 様

株式会社 伸正精機 様

